

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月24日

計画の名称	仁良川地区の安全安心で住みやすいまちづくり											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	下野市											
計画の目標	<p>下野市は、都心から85km圏にあり、首都圏の一端を構成している。</p> <p>仁良川地区は、下野市において公共施設が集中する下野市東部の行政・文化の拠点である。周辺の道路状況は、本地区西側をはしる主要幹線道路である新4号国道が全面開通し、鉄道駅もJR自治医大駅が北西約2.8kmに、同小 金井駅が南西約3.0kmに位置するなど交通状況は恵まれた状況にある。しかしながら地区内は、道路、公園等の公共施設の整備が不十分なため、有効な土地利用が十分に図られていない上に、道路が狭隘で歩道も無いことから、小中学生の 通学路も危険な状況にある。</p> <p>よって、土地区画整理事業により面的な整備を行うことで、都市計画道路3・4・901薬師寺仁良川線ほか3路線の都市計画道路とそれに接続する区画道路および近隣公園、街区公園などの都市施設を充実させ、安全な通学路・生活道路を確保 し、合わせて良好な住宅の供給を促進し、本地区の安心して生活できる居住環境の向上を図ることを目的とする</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	595	A	595	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	地区内の道路、公園などの整備により、生活環境の向上を図り、地区内の定住人口の増加を目指す。 地区内の世帯数を調査する。	835戸	885戸	920戸
2	地区内の道路、公園などの整備により、日常生活及び災害時の安全・安心の満足度の向上を目指す。 地区内の道路、公園、街路灯等の整備による日常生活及び災害時の安全・安心度の調査をする。	20%	25%	30%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H30	H31	R02	R03	R04						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
道路事業	A01-001	街路	一般	下野市	直接	下野市	区画	改築	仁良川地区土地区画整理 事業	区画整理(住宅地)91.4ha	下野市						595	1.14	-			
												小計						595				
											合計						595					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	33	26	72	51	26
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	33	26	72	51	26
前年度からの繰越額 (d)	0	8	5	4	0
支払済額 (e)	25	29	73	55	16
翌年度繰越額 (f)	8	5	4	0	10
うち未契約繰越額(g)	2	0	4	0	2
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6.06	0	5.19	0	7.69
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					